

# 府中町人口ビジョンの概要

## 将来の府中町人口に対する基本認識

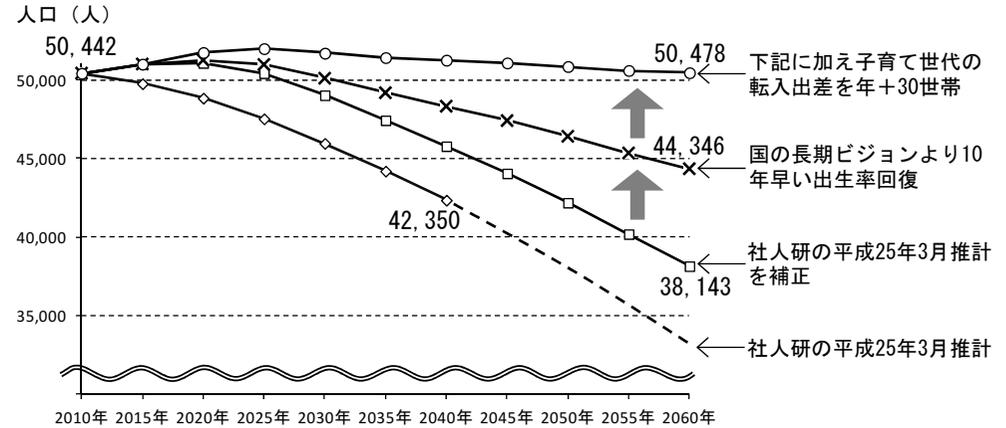
- ・何も対策を講じなかった場合の人口推計では、**2060年には人口が3万人台にまで減少**
- ・ここ数年は総人口が増加しているものの、20～39歳の女性人口は減少しており将来人口に不安

一方で、

- ・6割を占める広島都市圏内の他市町間の転入出は、20～39歳の子育て世代で大きく転入超過
- ・最近の転入者や町外居住者へのアンケートの結果から、「**利便性向上**」を図りつつ「**子育て支援**」に力を入れていくことで**人口増に期待**

## 目指すべき将来の方向

- ・「**子育て世代が居住を選択するまち**」を目指すことが**人口維持に効果的**
- ・全国平均より大幅に高い府中町の出生率を踏まえると、**国の長期ビジョンより10年早いペースでの出生率回復**を目指すべき  
(2020年1.80、2030年2.07、2040年2.30、以降安定)
- ・さらに予測より20～39歳の子育て世代の**転入出差を年間+30世帯**とすれば、**5万人の人口維持**が中長期的にも可能



	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
下記に加え子育て世代の転入出差を年+30世帯(※3)	50,442	51,026	51,766	52,015	51,726	51,444	51,281	51,104	50,875	50,621	50,478
国の長期ビジョンより10年早い出生率回復(※2)	50,442	51,026	51,280	50,993	50,117	49,192	48,335	47,418	46,417	45,352	44,346
社人研の平成25年3月推計を補正(※1)	50,442	51,026	51,097	50,439	49,040	47,443	45,791	44,056	42,190	40,188	38,143
社人研の平成25年3月推計	50,442	49,779	48,855	47,538	45,971	44,203	42,350	-	-	-	-

※1：国が「長期ビジョン」を示した時点で最新のデータだった平成25年の全国の合計特殊出生率は1.43であり、人口動態保健所・市町村別統計による平成20～24年の期間合計特殊出生率1.38と比べて+0.05ポイントであった。府中町の平成20～24年の期間合計特殊出生率は1.65であったため、全国の値と同様にそこから+0.05ポイントと考え、現在の府中町の合計特殊出生率は1.70程度と仮定した。

社人研の平成25年3月推計では、2015年の府中町の出生率は1.50010762006464とされており、この差分(+0.19989237993536)の嵩上げを2060年まで実施して補正した。

さらに、2015年の人口が、住民基本台帳登録数のトレンドによる2015年10月時点の予想値である51,026人に一致するよう移動率の嵩上げ(+0.017831185638)を行い、区画整理地区内でのマンション建設等を考慮して2020年まではその8割、2025年まではその半分の移動率嵩上げを行って国の推計を補正した。

※2：国の長期ビジョンの出生率回復に対して、右表のように10年早い回復ペースと仮定して算出した。

	2013	2020	2030	2040	以降
国の長期ビジョン	1.43	1.60	1.80	2.07	→ 安定
府中町	1.70	1.80	2.07	2.30	→ 安定

※3：子育て世代(20～39歳の夫婦と子ども1人の世帯(転入後に子どもを産む夫婦のみ世帯、子どもを複数持つて転入する世帯など、様々な世帯の転入が想定されるが、ここでは子ども1人の世帯を平均像と仮定した。))が毎年+30世帯になると仮定して算出した。